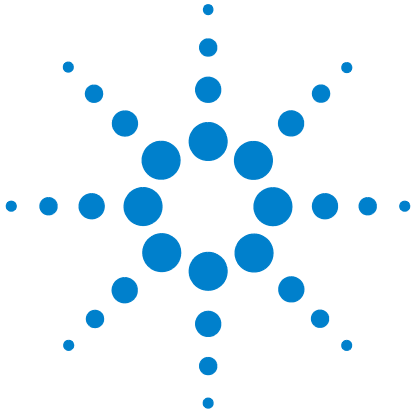

Agilent 7696A Sample Prep WorkBench

設置準備

Agilent Technologies

ご注意

© Agilent Technologies, Inc. 2010

Agilent Technologies, Inc. 社との事前の契約および書面による同意なしに、本書の一部または全部を複製することは、形式や手段（電子的な保存と検索、外国語への翻訳を含む）を問わず米国ならびに国際著作権法により禁止されています。

マニュアル部品番号

G4529-96016

出版履歴

第 1 版 2010 年 12 月

Printed in USA

Agilent Technologies, Inc.
2850 Centerville Road
Wilmington, DE 19808-1610 USA

安捷伦科技 （上海）有限公司
上海市浦东新区外高桥保税区
英伦路 412 号
联系电话：（800）820 3278

保証

このマニュアルの内容は「現状のまま」提供されることを前提としており、将来の改訂版で予告なく変更されることがあります。また、適用法が許容する最大限の範囲において、Agilent はこのマニュアルおよびこのマニュアルに記載されているすべての情報に関し、商品性や特定用途への適合性についての黙示保証など、明示または黙示を問わず、一切の保証はいたしません。Agilent は、このマニュアルまたはこのマニュアルに記載されている情報の提供、使用または行使に関連して生じた過失、あるいは付随的損害または間接的損害に対し、責任を負わないものとします。Agilent とお客様の間に書面による別の契約があり、このマニュアルの内容に対する保証条項がここに記載されている条件と矛盾する場合は、別に合意された契約の保証条項が適用されます。

安全上の注意

注意

注意記号は、危険であることを示しています。この記号は、正しく実行しなかった場合や守らなかった場合に、機器の破損や重要データの損失を招く恐れがある操作手順、実行などに対して注意を喚起します。指示されている条件を完全に理解し、この条件に対応できるまで、注意記号を無視して先に進まないでください。

警告

警告記号は、危険であることを示しています。この記号は、正しく実行しなかった場合や守らなかった場合に、けがや死亡事故につながる恐れがある操作手順、実行などに対して注意を喚起します。指示されている条件を完全に理解し、この条件に対応できるまで、警告記号を無視して先に進まないでください。

Agilent 7696A Sample Prep WorkBench 設置準備

お客様の責任範囲 4
寸法と重量 5
消費電力 6
設置環境 8
ケーブルの長さ 9
サイトの LAN ネットワーク 10
基本工具 12

このセクションでは、Agilent 7696A Sample Prep WorkBench（WorkBench）の据付に必要なスペースと要件の概要を説明します。正常かつ工程通り機器を据付するには、据付を始める前に据付場所がこれらの条件を満たしている必要があります。必要な部品（部品、消耗品、さらにバイアルや溶媒などの用途によって必要となるもの）も準備しておく必要があります。部品と消耗品の最新一覧表については、弊社 Web サイト www.agilent.com/chem/jp をご覧ください。

Agilent Technologies

お客様の責任範囲

このマニュアルでは、機器とシステムを正しく据付するために必要なスペース、電源、部品、消耗品、さらにバイアルや溶媒等の用途により必要になる事項について概要を説明します。

Agilent に据付と取り扱い説明のサービスをご依頼していただいた場合、重要な操作、メンテナンス、安全上の注意について説明させていただきますので、機器の担当者が常に作業に立ち会うようお願いいたします。

Agilent に据付と取り扱い説明のサービスをご依頼していただいた場合、設置の準備が不十分であるために据付の日程が遅れた場合、機器の保証期間が短くなる場合があります。極端なケースでは、据付完了に必要な追加時間について、弊社が支払いを要求することがあります。弊社は、特定の設置場所要件が満たされた場合にのみ、保証期間中およびメンテナンス契約におけるサービスを提供します。

寸法と重量

システムが届く前に、実験室での設置スペースを用意しておいてください。必要となる全体の高さには特に注意してください。タワーの取り外し / 据付のために最低 10 cm（4 インチ）のスペースを残しておくことを推奨します。足のない張り出した棚を設置スペースにするのは避けてください。

稼動時の合計寸法の例を図 1 に示します。

表 1　必要な高さ、幅、奥行き、重量

製品	高さ	幅	奥行き	重量
Agilent 7696A Sample Prep WorkBench	70.4 cm（27.72 インチ）	67.6 cm（26.62 インチ）	49.3 cm（19.41 インチ）	40.8 kg（90 ポンド）

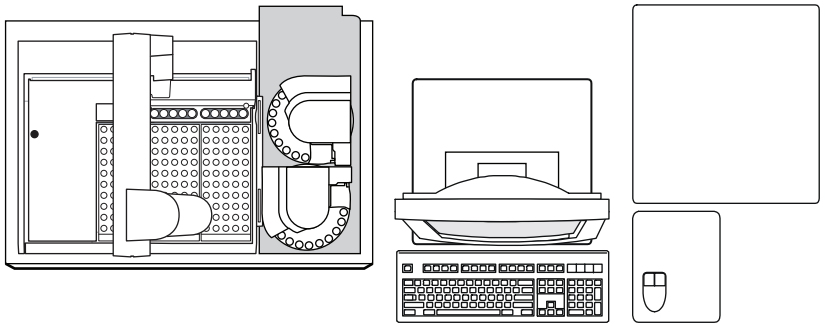

図 1　コンピュータとプリンタを使用する 7696A WorkBench システムに必要な設置スペース例

7696A WorkBench とコンピュータを含むシステムには、約 130 cm（52 インチ）の設置スペースが必要です。操作用スペースとプリンタを考慮すると、合計 174 cm（68 インチ）の設置スペースが必要です。システムの修理の際、機器背面へのアクセスが必要な場合もあります。

消費電力

表 2 は設置場所の電源要件を一覧にしています。

- コンセントの個数やタイプは、システムのサイズと組み合わせによって異なります。
- 電力消費量や容量は、機器を設置する国によって異なります。
- 機器で使用する電圧については機器の電源コードのアタッチメント付近に印刷されています。
- ユニット用の電気コンセントには、専用アースが必要です。
- すべての機器は専用回路に接続する必要があります。
- 電源ラインコンディショナーは、Agilent 機器には使用できません。

表 2　消費電力

製品	電源電圧（VAC）	周波数（Hz）	最大消費電力（VA）	定格電流（amps）
7696A Sample Prep WorkBench	米国：120 単相 (–10% / +10%)	50–60	800	7.4
	220/230/240 単相 / スプリットフェーズ (–10% / +10%)	50–60	800	4.0/3.9/3.7

警告　**Agilent 機器には延長コードを使用しないでください。通常、延長コードは十分な電力を伝送できず、安全上の問題が生じる可能性があります。**

機器はご使用の国で操作できるように各部が準備されていますが、表 2 に記載されている電圧要件を確認してください。注文した電圧オプションが据付に適さない場合は、弊社にご連絡ください。

注意　**機器の操作には適切なアース（接地）が必要です。アース導線の中断や電源コードの断線があると、感電事故が発生する恐れがあり、けがの原因になります。**

ユーザーを保護するため、金属製の機器パネルとキャビネットのアースには、国際電気標準会議（IEC）の要件に適合する 3 導線電源ラインコードを使用します。

正しくアースされたコンセントに 3 導線電源ラインコードを差し込むことにより、機器がアースされ、感電の危険が軽減されます。正しくアースされたコンセントとは、適切な接地に接続されているコンセントのことです。コンセントのアースが適切に行われていることを確認してください。機器には独立したアースが必要です。

設置環境

機器を推奨範囲内で操作することにより、機器の最適な性能と寿命を維持することができます。また、暖房、エアコン、通風などによる熱や冷気によって、性能に影響が出る場合があります。表 3 を参照してください。結露がなく、非腐食性の環境を想定しています。

表 3　稼動中や保管中の設置環境

製品	状態	動作温度範囲	動作湿度範囲	最高標高
Agilent 7696A WorkBench	稼動中	15 ～ 35 °C （59 ～ 95 °F）	5 ～ 95%	4,300 m
	保管中	–20 ～ 70 °C （–4 ～ 158 °F）	0 ～ 95%	

ケーブルの長さ

システムモジュール間の距離は、一部のケーブルとベントホースまたは真空ホースによって制限される場合があります。“ 寸法と重量 ” に示すとおりに作業スペースを計画してください。

- Agilent から供給されるリモートケーブルの長さは 2 メートル（6.6 フィート）です。
- Agilent から供給される LAN ケーブルの長さは 10 メートル（32.8 フィート）です。
- 電源コードの長さは 2 メートル（6.6 フィート）です。

サイトの LAN ネットワーク

システムをサイトの LAN ネットワークに接続する場合は、追加のシールドツイストペアネットワークケーブルが必要です。

注記 Agilent Technologies は、サイトの LAN ネットワークに対する接続または通信の確立について、責任を負いません。Agilent では、ミニハブまたは LAN スイッチでのシステムの通信能力のテストのみを行います。

注記 機器に割り当てられている IP アドレスは、固定（永久に割り当てられている）アドレスである必要があります。サイトのネットワークにシステムを接続する予定の場合、各機器に一意の固定（静的）IP アドレスが割り当てられている必要があります。

実験室での安全基準

Workbench 本体の準備または使用時に化学物質を処理 / 使用する場合、設置地域や国の定める安全基準に従う必要があります。安全基準には、実験室の内部安全規定や標準操作手順で決められている作業者保護具（PPE）の正しい使用、ストレージバイアルの正しい使用、および化学物質の正しい取り扱いなどがありますが、これがすべてではありません。実験室での安全基準に従わない場合、怪我または死亡につながる恐れがあります。

警告

重い部品の取り扱いには細心の注意を払ってください。部品の持ち上げは 2 人で行ってください。1 人で持ち上げると、怪我を負う恐れがあります。

基本工具

WorkBench には、いくつかの基本工具と消耗品が付属しています。一般的には、下記のものが機器に付属します。

表 4　基本工具

工具もしくは消耗品	用途
クリンパ、20 mm シール	クリンプトップサンプルバイアル
T-10 トルクスキードライバ	メンテナンス
ショートアーム L キー T-20 トルクス	メンテナンス
プラスドライバー	メンテナンス
キャリブレーションバイアル	キャリブレーション手順
スクリューキャップバイアル クリア（100）	
青スクリューキャップ	